

京都市立小中学校耐震化PFI事業

落札者決定基準

平成21年5月15日

京 都 市

— 目 次 —

第1	本書の位置付け	1
第2	事業者選定方法	1
1	選定方法の概要	1
2	審査の手順	1
3	優秀提案の選定	1
4	落札者の決定	1
第3	第一次審査	3
1	資格審査	3
2	実績審査	3
第4	第二次審査	3
1	入札価格の確認	3
2	基礎審査	3
3	加点審査	3
第5	優秀提案の選定	5

第1 本書の位置付け

この落札者決定基準は、京都市（以下「市」という。）が京都市立小中学校耐震化PFI事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を募集及び選定するに当たり、本事業に係る入札に参加する民間事業者（以下「応募者」という。）を対象に交付する入札説明書（以下「入札説明書」という。）と一体のものです。

また、本書は、事業者の選定に当たって、応募者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価し選定するための方法、基準等を示すものです。

第2 事業者選定方法

1 選定方法の概要

学校教育活動等への影響を低減して耐震化を実施する本事業の事業者には、専門的な技術やノウハウを有することが求められます。このため、事業者の選定に当たっては、提案内容及び入札価格の総合的な評価結果に基づき落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用します。

2 審査の手順

落札者決定に係る審査は、第一次審査と第二次審査を実施します（【図1 落札者決定までの流れ】参照）。第一次審査は、応募者及び協力企業（以下「応募者等」という。）について、書類審査により、総合審査のための提案を提出できる有資格者を選定します。なお、総合審査に資格審査の結果は影響しません。

(1) 第一次審査

- ・ 資格審査
- ・ 実績審査

(2) 第二次審査

- ・ 入札価格の確認
- ・ 基礎審査
- ・ 加点項目審査

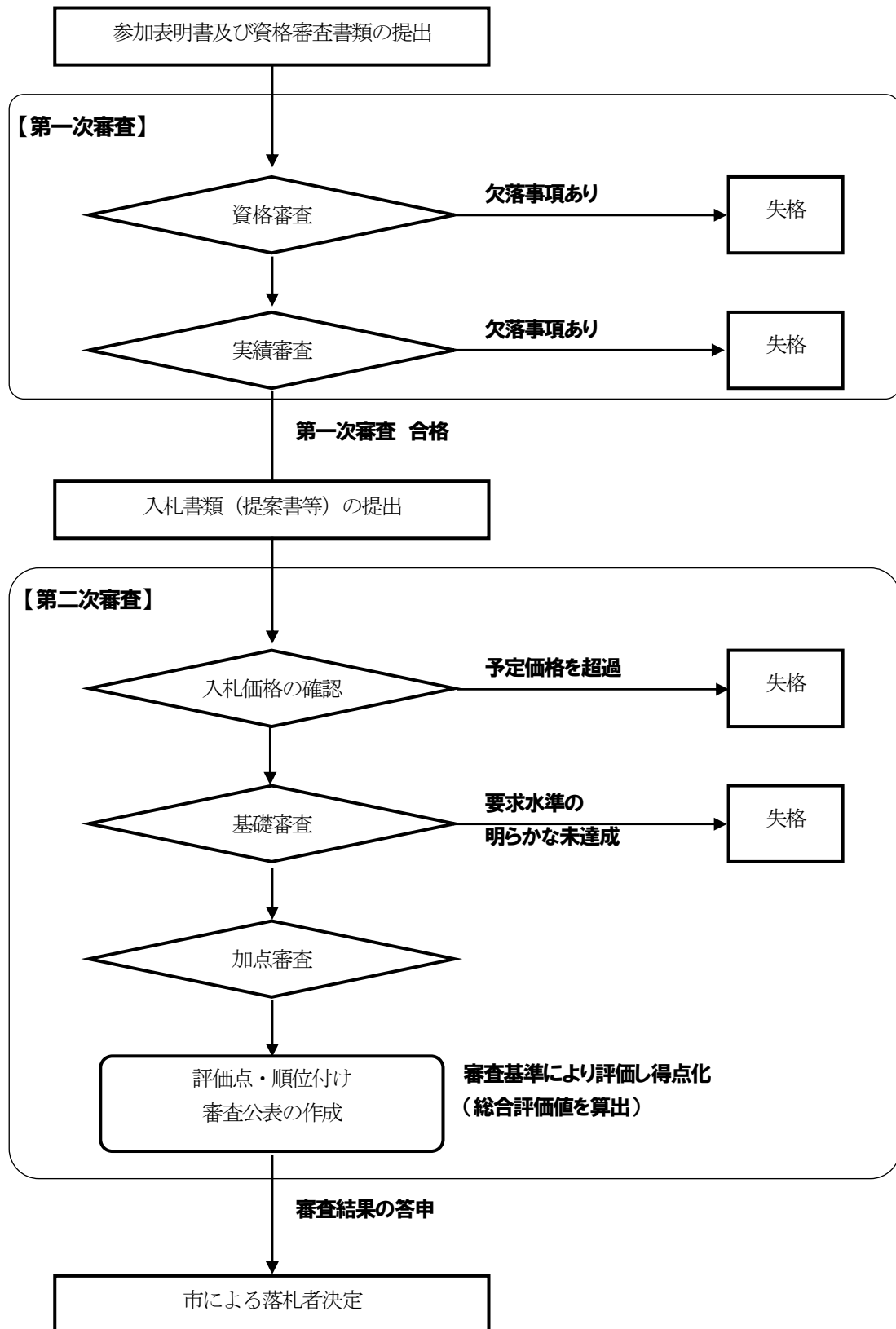
3 優秀提案の選定

第一次審査に合格した応募者等から提出された入札書類の内容について、審査委員会において本書に基づき評価・得点化を行い、得点の合計が最も高い提案を優秀提案として選定します。

4 落札者の決定

市は、審査委員会の優秀提案選定結果を踏まえ、落札者を決定します。

【図1 落札者決定までの流れ】



第3 第一次審査

書類審査により、参加資格要件並びに業務実績及び経験等の確認審査を行い、本事業の入札参加資格要件の確認を行います。

1 資格審査

応募者から提出された競争参加資格確認申請書等に基づき、入札説明書に定める応募者の参加資格要件について審査を行います。参加資格要件を備えていない場合は失格とします。

2 実績審査

応募者から提出された競争参加資格確認申請書等に基づき、応募者のうち耐震第二次診断、耐震補強設計、耐震第二次診断及び耐震補強設計に係る第三者機関の判定取得、耐震補強工事、工事監理及び定期調査等の各業務に当たる者につき、入札説明書に定める業務実績及び経験等の要件について審査を行います。要件を備えていない場合は失格とします。

第4 第二次審査

応募者から提出された入札提案書類の内容を審査します。審査にあたり提案書の文書と図等による記載内容に齟齬がある場合には、文書による記載内容を優先するものとします。

なお、審査にあたってはプレゼンテーション・ヒアリングを行うことを予定しています。

1 入札価格の確認

応募者が入札書に記載した入札価格（入札説明書を参照）が、市の設定する予定価格を超えていないことを確認します。入札価格が予定価格を超えている場合は失格とします。

2 基礎審査

応募者から提出された提案書類について、以下に示す基礎審査項目を満たしているかを確認します。当該項目のいずれかでも満たしていない場合は失格とします。

(1) 要求水準の達成確認

提案内容が要求水準を満たしているかどうかを、様式集（入札説明書別添資料5）による提案書類への記載事項等に基づいて確認します。

提案内容は、市が要求する要求水準に対して、事業実施時にその要求水準を満たすことを確約すること、また要求水準を満たすための対応方策等について具体性を持って記載することが必要となります。

提案書に記載される内容が要求水準を充足する妥当な方法・内容であると確認できる場合に、要求水準を達成しているものとして判断します。

(2) 市が支払うサービス購入費算定の確認

ア 応募者から提案された入札価格について、入札説明書に示した前提条件が正確に反映されているか、また、計算上の誤りがないかについて確認を行います。

イ 市が支払うサービス購入費の算出方法に誤りがあることが明らかな場合は、内容を確認のうえ、欠格か否かの判断を行います。

3 加点審査

基礎審査を通過した応募者の提案内容について審査し、(1)～(2)に従い定量化します。

(1) 定性的審査に関する事項

次の【表1 加点審査項目及び配点等】に示す審査項目、審査のポイント及び配点に従い、応募者の提案内容について加点評価し得点化します。なお、得点化に際しては【表2 各審査項目の得点化基準】に示す得点化基準により得点を付与します。

(2) 入札価格に関する事項

入札価格は、次の方法により得点化し、評価値として算出します。

ア 最も低い価格を提示した応募者の評価値を300点満点とします。

イ その他の応募者の入札価格は、次の方法により、最低入札価格の当該入札価格に対する割合を用いて、評価値として算出する。有効桁数は小数点第1位とし、小数点第2位は四捨五入します。

$$\text{得点} = \left\{ \frac{\text{(最低入札価格)}}{\text{(その他の入札価格)}} \right\} \times 300 \text{点}$$

【表1 加点審査項目及び配点等】

審査項目		審査のポイント	配点
事業計画	事業推進体制の確実性	<ul style="list-style-type: none"> 対象4校の耐震補強業務のスケジュール、品質及び費用を確実にマネジメントできる体制となっているか。 	10
	事業関係者とのコミュニケーションの確実性	<ul style="list-style-type: none"> 事業関係者（市・学校関係者・事業者等）の連絡・協議方法について、事業の円滑な実施に資する提案があるか。 	5
	リスク対応の確実性	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が負担するリスクについて、回避・軽減策及び顕在化した際の対応策が提案されているか。 予期せぬ事態発生に対して、必要となる資金調達、バックアップ体制の確保、保険付保等の対策が提案されているか。 	5
	事業計画 計		
耐震補強業務	学校教育活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 工事実施中の騒音、振動、粉塵、臭気について、回避・低減できる補強計画、工法、工事実施計画であるか。 工事の実施中及び実施後において、対象4校の採光及び通風が確保できる提案であるか。 上記以外に、授業を行いながら居ながらにしての施工であることを踏まえた提案であるか。 	35
	安全性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中の、学校関係者及び近隣住民等の安全確保の方策が提案されているか。 	10
	周辺環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中に周辺への生活環境へ与える影響を回避・低減するための提案がされているか。 	10
	景観への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 景観との調和に配慮した外観デザインであるか。 	10

審査項目		審査のポイント	配点
	地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止に資する提案がされているか。 廃棄物の削減、省資源に係る提案がされているか。 	10
耐震補強業務 計			75
定期調査 等業務	学校の安全・安心 への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 業務実施に当たり、6年間の期間を活用した、安全・安心な学校の維持に資する提案がされているか。 	3
その他	総合的観点	<ul style="list-style-type: none"> 全国初の耐震化 PFI 事業として、先駆的な試みが提案されているか。 その他、上記の審査項目では評価できない有益な提案があるか。 	2
合 計			100

【表2 各審査項目の得点化基準】

評価	評価基準	点数化の方法
A	提案が特に優れている	配点×1.00
B	提案が優れている	配点×0.60
C	加点水準に達した提案がある	配点×0.20
D	加点水準に達していない	配点×0.00

第5 優秀提案の選定

第4 3 (1) 及び(2)の規定に従い算出した得点の合計得点が最も高い提案を優秀提案として選定します。ただし、合計得点が最も高い提案が2以上あるときは、加点項目審査の「耐震補強業務」の得点が最も高い提案を優秀提案として選定します。なお、合計得点が最も高い提案が2以上あり、かつ、該当する提案の各々の「耐震補強業務」の得点が同点のときは、該当者にくじを引かせて選定します。